

いわくに魅力発信

Vol.5
南河内・北河内

いわくに

IWAKUNI - CHIKAKUNI - MONOGATARI

チカクニ物語



いわくに魅力発信 いわくにチカクニ物語 Vol.5

IWAKUNI
CHIKAKUNI - MONOGATARI

〈岩国市の詳しい情報はこちら〉

ちかくにいわくに
岩国市シティプロモーションサイト

<https://chikakuni-iwakuni.com/>

～あなたのちかくにある岩国の4つの魅力～
岩国市シティプロモーションサイト

問合先/岩国市 広報戦略課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5016
mail/kouhou@city.iwakuni.lg.jp



家族の夢かなう
いわくに暮らしサポートセンター
IWAKUNI PURSUE SUPPORT CENTER

<https://yumekana-iwakuni.jp/>

総合移住相談窓口

問合先/いわくに暮らしサポートセンター
〒740-0018
山口県岩国市麻里布町二丁目3-6
株式会社 街づくり岩国 内
TEL/0120-28-1892 (専用ダイヤル)、
0827-28-6020
相談受付/
月～土曜10:00～17:00



岩国 田舎暮らしの道しるべ!

<https://iwakuni-iju.jp/>

中山間地域への移住相談窓口
(空き家バンク)

問合先/岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5012
mail/chiiki@city.iwakuni.lg.jp
相談受付/
平日9:00～17:00



いわくに魅力発信
いわくにチカクニ物語
Vol.5 2023年1月発行

岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14-51 TEL/0827-29-5012
この冊子は、岩国市ふるさと応援寄附金を財源に作成しました。内容は岩国市の中山間地域の情報を中心に掲載しています。
歴史的記述に関する監修:岩国徴古館



JR新岩国駅

1975年に開設された山陽新幹線の駅。当時、街中にある岩国駅との併設案もありましたが、線路延長による工事費用や用地買収、カーブ挿入による速度向上への妨げなどの問題から、当時開業した区間の駅の中で唯一の単独駅となりました。2012年に岩国錦帯橋空港が開港されるまで長らく首都圏などへの主な交流手段として利用され、今も各地要素への移動などで多くの人が利用しています。



南・北河内地区

錦川中流域の山に囲まれた中山間地域。弥生時代の遺跡があるなど古くから人が住んでいたことがわかっていて、戦国時代には河内郷と呼ばれていました。大内氏・毛利氏の支配下を経て、江戸時代には吉川家による岩国領に。明治に入り北部が北河内村、南部が南河内村となり、1955年に岩国市に合併しました。自然に囲まれた環境で、市街地から車で約30分圏内と比較的近く、錦川の川辺ではキャンプや鮎釣り、カヌーなどが楽しめるあつて、夏は多くの人が訪れます。近年は都会からのUターンやTターンする人も多く、外国人の定住者も増えてきました。

いわくに魅力発信

いわくに チカクニ物語

IWAKUNI - CHIKAKUNI - MONOGATARI



— これまでのおはなし —

チカは東京の大学3年生の夏、岩国に帰郷してクニコとカーブ由宇練習場に行ったとき、ひょんなことからサトルとテツに出会いました。

その後、岩国の各地を巡るようになった男女4人。由宇・玖珂・周東(VOL1)、美川・錦(VOL2)、柱島群島(VOL3)、美和・本郷(VOL4)で、岩国の魅力を再発見してきました。

今まで知らなかった岩国の魅力を知ったチカは、大学を卒業するとやっ取り付けた内定を断り、岩国に帰郷することを決意。岩国市内の企業に就職することになりました。

プライベートでも正式にサトルとつき合いはじめ、今日は一足先に結婚したクニコとテツが新婚旅行から帰ってくる日。JR新岩国駅に2人を迎えに行き、最近仲良くなったサトル・チカの知人に会いに行くことに。今回はほかにもどんな出会いが待っているのやら。

〈 登場人物 〉



国本サトル(22歳)

岩国市周東町出身。広島のホテルでコックをしている。高校時代は甲子園を目指していた。



岩田テツ(23歳)

岩国市錦町出身。明るい性格で日本の伝統文化に詳しい。大学卒業後に小学校の教師となる。



岩田クニコ(22歳)

旧姓・葉月。実家は岩国市今津町。地元の大手企業に勤務するOL。カーブ女子。



立花チカ(22歳)

岩国市山手町出身。東京の大学を卒業後、地元の企業に就職する。趣味は食べ歩き。



南河内にある
中浜農園直営
だからおいしい
有機野菜を
使ってるんよ



農薬・化学肥料不使用の 有機野菜で体も心も健康に

中浜 良太郎さん(南河内／農家厨房 月城丸)

岩国市出身の中浜さんは高校を卒業後、広島で税理士を目指すも体調を崩し断念。その時に食の重要性を認識し、体に良い無農薬の有機農業に取り組むことに。南河内の古民家を改装して「農家厨房 月城丸」を開店。安定して経営できる農業を目指しています。



いい野菜が
育つんよ！

ハンドメイドならではの こだわりの手芸雑貨

伊藤 有季恵さん
(南河内／雑貨アパート 林檎荘)

ものづくりと雑貨好きが高じて手づくり作家5人が集う「雑貨アパート 林檎荘」をオープンした伊藤さん。マスコットブローチやアップリケ刺繍などの作品を作り、近隣のイベントにも出店。ネット販売もしています。



河内蓮華山

標高500mの山で頂上からの眺めが素晴らしく、晴れた日には羅漢山などの中国山地や瀬戸内海に浮かぶ宮島、江田島などを見ることができます。



りんごの
看板が目印！



南河内



ここではみんなが
協力しあって
地域を盛り上げて
いるんだよ

その一つが
女性グループ
河内グランマ
なんよ！



ひろしさん
友達を連れて
来たよ

みんなでつくる魅力ある地域

山下 博さん(南河内／南河内村づくり塾・塾長)

地域の活性化を目指し活動する南河内村づくり塾。同地区にある河内中学校と北河内中学校が統合され岩国西中学校が開校したのを機に、錦川清流線・南河内駅周辺の田んぼに菜の花を植える活動をはじめ、花が咲く春には周辺の桜と相まった絶景が評判に。春の「菜の花フェスティバル」や秋の「ふれあいフェスティバル」を開催するなど、年間を通して地域の活性化に尽力されています。

手作りのおいしいものを提供できるよう みんなで頑張ります

河内グランマの皆さん(南河内／企業組合 河内グランマ)

南河内村づくり塾から派生した企業組合で、20代から80代までの21人が所属する女性グループ。地産地消をかねて「畑からあなたへ」をコンセプトに年間生産量3トンを誇る味噌や、米粉を使ったシフォンケーキ、新鮮野菜をふんだんに使った弁当など、手作りのどこか懐かしい味が好評を得ています。



おいしそー

北河内



地元で採れた
新鮮野菜を
使ってるん
だって



へえ

みんなが集える自然派レストラン

田坂 千秋さん(北河内／清流錦川憩い処 翠の風)

広島市出身の田坂さんは「いつか古民家カフェをオープンしたい」と夢を持ちながら広島や神戸で会社勤めを10年経験。その後、偶然この物件に巡り会い、知人と店をはじめることになりました。「オープン当初はコロナ禍で大変だったけど、お弁当の注文が入ったり、リピートしてくれるお客さんもあり、今ではご近所さんとの付き合いも楽しい」と話します。憩い処としていろいろなワークショップや集会などで利用できる「貸しスペース」も始めました。



おこっ♡

人々との縁を
つなげる
みんなの憩いの場に

Uターン 開業した 地域の電気屋さん

河村 幸治さん
(北河内／エディオン北河内店)

九州の大学を卒業後、広島の大手電気機器メーカーに勤めるも、地元へ帰り電気店を開業した河村さん。この地域では唯一の電気屋さんです。



電化製品の
ことなら
何でも聞いて
ください



そう、だ！
近くに薪窯
ピッツアの
店があるんよ



将来は海外での作品
展示会も計画中だそ
うで、制作活動にも
力が入ります。



○(マル)さんは
Uターンされた
ガラス工芸作家
なんよ



ステキ



見事！



仕事も子育ても自然の中で充実の毎日、 岩国に来てよかった

齋藤 裕史さん・由香理さん
(南河内／ガラス工房 ○(マル))

富山県を拠点にガラス工芸作家として活動していた裕史さんは、工房の契約が終了する2014年に独立。それと同時に双子の赤ちゃんが誕生することがわかって、由香理さんの実家がある南河内に移住を決意しました。現在は作品作りに集中できる環境と、自然の中で家族とのびのび過ごせる幸せを感じているそう。



ここに来て
よかったです



すおなか
いたさ！！



ぜひ、遊びに来てね

少し上がれば
キャンプ場も
あるよ

いつ、誰が来ても
心癒される場所にしたい

藤村 幸生さん(北河内／二鹿昭代会)

二鹿昭代会は1982年に整備された野外活動センターを中心に、キャンプ場やその周辺の美化清掃などを行い、二鹿を盛り上げる活動を続ける地域グループ。来訪者用に地域内の各所に看板や案内板を設置する取り組み等も行なっています。



同会のキャッチフレーズ「へこたれない」の文字が刻まれた石碑

二鹿野外活動センター
岩国市二鹿742
TEL／0827-47-3156(管理人室)

もう一つ、
ここにはとっても
貴重な文化財が
あるんだ

ここはボクが




梅津の滝
錦川の支流 二鹿川沿いにある滝の一つ。



アサギマダラ
2,000kmを旅する蝶
二鹿昭代会では、休耕田を利用してフジバカマを植えています。秋には多数のアサギマダラを見ることができます。

二鹿伝説

平安時代、比叡山にいた2つの頭を持つ凶暴な鹿を、梅津中将清景(うめづちゅうじょうきよかげ)がこの地で討ち取ったという伝説が残ります。



山口県東部森林組合錦川支所



どれも
おいしそうで
悩むなあ

自分自身も
美味しい、
それを感じて
もらったら

サビブス業(飲食)で
林業をもっと
知ってもらいたい

遊べるイタリアンでお客様も自分たちも楽しく!

山中 康司さん・澤原 勇作さん(北河内／COCCINELLA(コッチネッラ))

イタリア語ででんとう虫を意味する「COCCINELLA」は、山口県東部森林組合錦川支所の一角に2021年9月オープンした薪窯ピッツァのお店です。薪を利用して焼くピッツァは評判で、ドライブがてら立ち寄るお客も多く、他県からのリピーターも。イタリア伝統の製法を独自に改良して作る生地はもちろん、ソースも全て自家製。屋外のイートインスペースもあり、自然に囲まれながら食べるピッツァは最高です。



材料はどれも
間伐した端材で、
それを活用して
作ってます

子どもさんが
喜んでくれるのがうれしい

大内 義明さん
(北河内／山口県東部森林組合錦川支所)

施設内に入ると木の香たよう机やテーブル、腰掛けなどあり、どれもお値打ち価格の手作りの品。道路に面する同所駐車場にはここで作った木製の玩具もあります。




国指定重要無形民俗文化財 岩国行波の神舞

この神楽はもともと岩国藩に伝わる社家神楽（しゃけくら）が里人によって伝承されたもので、その起源は寛文8年（1668）以前とされています。静（せい）と動（どう）を併せ持ち、腰をかめた姿勢で舞われ、反閉（へんぱい）と呼ばれる独特な足の動きが特徴で、神楽継承後、観衆の目を意識して舞い方を改変したり、華美に走ったりすることなく、伝統をよく伝えていくと評価され、昭和54年（1979）2月に国の重要無形民俗文化財に指定されました。足掛け7年目に行われる「願舞（がんまい）」は一昼夜半にもおよび、多くの来場者が訪れます。



こう れい ぶ ちん
荒霊武鎮



まつ の ぼ
松登り

高さ25mの松に登り、
張られた綱をつたって
頭を下に降りてきます。



に ほん ぎ
日本紀



か っ ぽ う ー



小さな子どもたちも熱心に練習して、
本番に備えます。

あ ま つ い わ と
天津岩座
あ ま て ら す お お み か み
天照大御神



足掛け7年目ごとの
式年祭（願舞）は、
この地に住む人と
神楽団が一丸となつて
受け継ぐ大切な
伝統文化なんだ。

伝承館に行けば
貴重な資料が
見られるよ

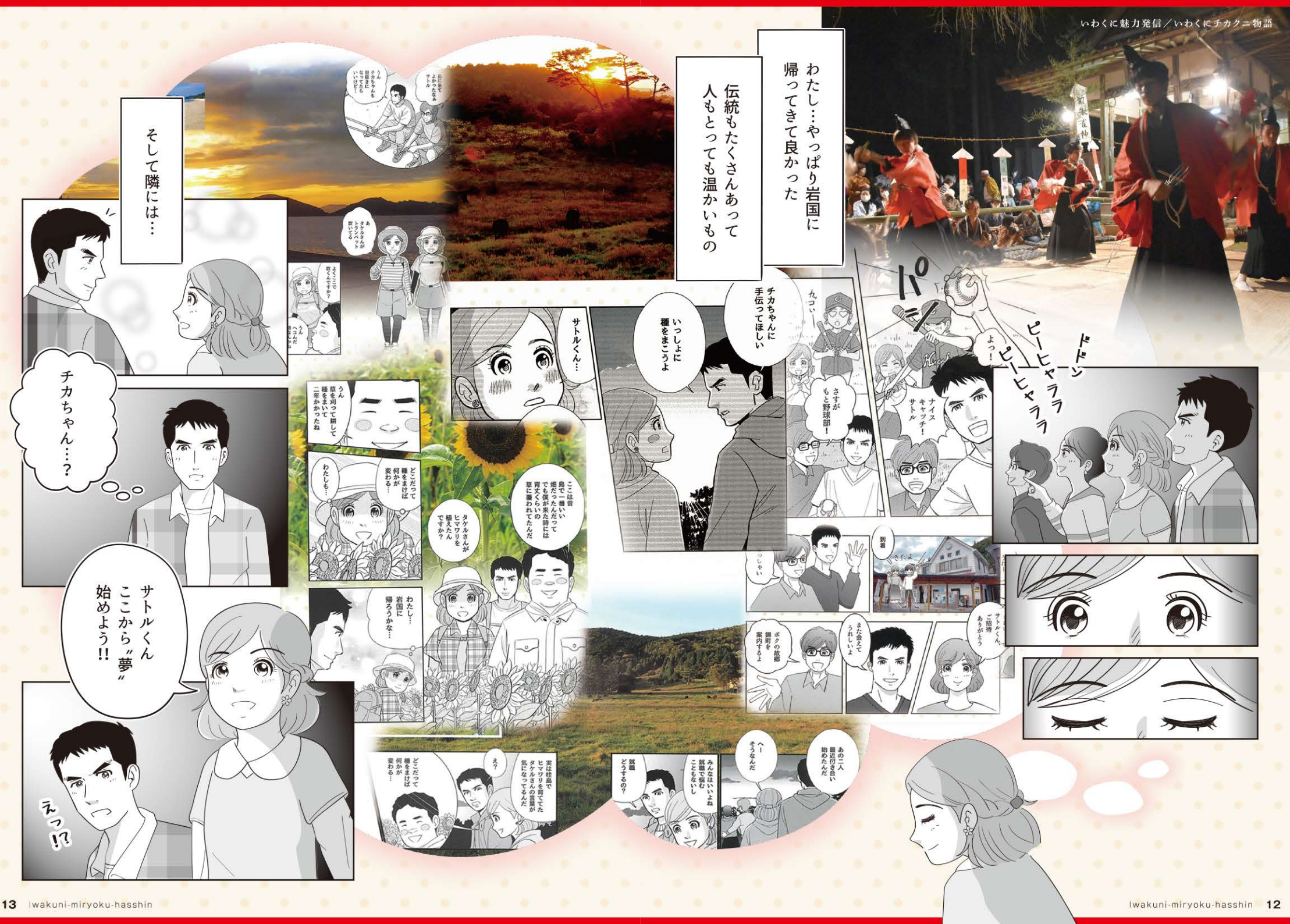
はっ せき 八関

願舞でのハイライトである「八関」では、八鬼神八奉吏が登場。松登りでは荒神に扮する登り手が高さ約25mの松に登り、祀ってある「三光」を燃やし、五穀豊稔、民安穩、厄疫退散を祈願します。また、この木の松葉にはご利益があると、言い伝えられています。



岩国行波の神舞伝承館





温泉と神楽の山里

神楽の活動が盛んな地域で、これを目当てにこの地を訪れたり、移住を希望する人もいます。

林業と清流の里

錦川周辺に広がる昔ながらの町並みと、山間部には紅葉が美しい溪谷があり、四季折々の風景が広がります。

